

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します。

総務常任委員会

◆ 議案第110号

飛騨市税条例の一部を改正する条例について
地方税法の改正に伴うもの

Q 市として税收増減の把握はしているか。

A 試算できていないが、高額所得者は増税となり、事業所得は減税となる見込み。

◆ 議案第112号

飛騨市看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例について
貸付対象者を拡充するための改正

Q 看護師不足は民間でもあるのか。

A 看護師の高齢化があり、若い看護師の市内就職を促したい。

Q 年間どのくらいの費用か。

A 月額7万円で、三年ある

いは四年で貸与している。

Q 教育委員会の奨学金制度との関連は。

A 別の制度である。

◆ 議案第113号

飛騨市地域産業振興施設条例の一部を改正する条例について
宇宙科学館カミオカラポの休館日及び開館時間を規定するもの

Q 年末年始休暇が宙ドーム内施設と違うが、なぜか。

A カミオカラポは文化的要素であり、他の文化施設と調整した。指定管理者と協議したい。

Q 年末年始休暇の根拠は。

A 条例上は直営も鑑みて設定した。

産業常任委員会

◆ 議案第116号

飛騨市小水力発電所設置条例について

Q いつから開始するのか。

A 発電は現在も行っているが、施設の譲渡は12月末の予定。

Q 年間の発電量は予定しているぐらいなのか。また、それよりも多い場合もあるのか。

A 予定している発電量よりは若干少なめで、天候によりストップさせる場合がある。

Q 発電された電気は北陸電力に売り、その売上でどのくらいの電力費用がまかなえるのか。

A 年間1300万円の売上を予定して、経費を差し引き約700万円の差額が出る予定。

Q もう一機作る予定はないのか。

A 県でも市内で2箇所を予定したが、成り立つのはこの石神ということになった。

Q 市長の判断はどうか。

A 飛騨市として小水力発電は推進していきたいのでいい所があれば県にも働きかけた。

Q 自治体型の小水力発電と捉えていいか。

A 売電収入が飛騨市に入って維持管理をするので自治体型である。

予算特別委員会

9月補正予算審議

総務部

Q 手押し除雪機は市有施設すべてあるか。

A 主要施設にはあるが、すべてではない。

企画部

Q ふるさと納税最近の状況は。

A 多少下回っているが、9月中には上回る見込みである。

Q 映像コンテンツ企画展の委託先は。

A 市外業者を想定している。

Q 「君の名は。」の経済波及効果は。

A 具体的数値ないが、入込客数をベースに研究する。

Q レールマウンテンバイクは将来延長する見込みか。

A NPO法人は全線活用したい思いはある。

Q 宙ドーム改修費は総額いくらか。

A 4億5千万円。

Q 指定管理者の公募はいつからか。

A 近々全国公募する。

Q スタッフは決まっているのか。

市民福祉部

Q 医療・福祉専門職員の研修は継続的に行うのか。

A 継続的に行う。

Q 放課後デイサービスの利用実績は

A 4月～6月で355件の利用。予算編成時の実績より増えている。

Q 県子ども食堂運営補助金は民間も入っているか。

A 古城福祉会の他に民間2団体入っている。

Q 介護認定調査員賃金の増額はなぜか。

A 認定者数増によるものである。

Q 認定までの期間はコンスタントに行われているか。

A 申請件数は増えているが対応できるようにしたい。

環境水道部

Q 備蓄品の非常用の水の袋はどこで備蓄するのか。

A 市の水道課で備蓄する。給水袋は6ℓ用で給水車の水

委員会Q&A

を市民が利用する時に使用する。

Q 市は給水車を保有していない。非常時の給水はどうするのか。

A 水が使用できない地区は、水が使用できる地区から運ぶ。市全体が使用できない場合は要請する。

農 林 部

Q 2000万円の被害が出た養殖業者は何軒か。

A 2軒でイワナ、ニジマスなど19tの養殖魚の被害が出た。

Q 今回の台風21号でビニールハウスなどの被害は出てないのか。

A パイプハウスの一部損壊やビニールハウスのはがれなど314棟で1611万円の被害があった。

Q めひの野園に今回も補助金が出るが、今までにどれだけ出ているか。

A 3月補正で障がい福祉課より就労支援B型事業所ということで350万円の補助金が出ている。

Q めひの野園の売上高と販売先は。

A 詳しい数字はわからないが、1千万円以上はある。販売先は富山方面が多く、これからは飛騨地区でも増やしたいと聞いている。

Q めひの野園今後の展望は。

A 現在は1万2千羽の処理。3年後は2万羽の処理を計画しているので順調に稼働していくのではないかと。

基盤整備部

Q 道の駅いぶしの管理形態が変わったようだが、年間どれくらいの予算が必要か。

A 電気代やトイレ管理委託料などで当初予算は139万円だが今回の補正で186万円になり、47万円が増額になる。



道の駅いぶし

Q 危険なブロック塀が175箇所あるようだが、所

有者は知っているのか。今後どのように進めていくのか。

A 今後、周知するのが、特に危険なものについては早急に連絡する。後は市民全体に啓発していく。

Q 建築物耐震化促進事業補助金が増額補正されているが当初予算とどのように変わってきて増額になったのか。

A 当初は2件の予定だったが、さらに2件相談があつて今回の補正になった。

教育委員会

Q “飛騨の街全体”を会場とした細江光洋氏の写真展の開催期間は。

A 今回限りの期間開催である。(11月10日～12月9日)

Q 県美術館職員は参画しているか。

A 県美術館と飛騨市の共催であり、各学芸員が協働している。

Q どのように展示するのか。

A 4地区でのバランスを考慮し、写真がとられた場所と比較展示したい。

Q 図書館閉館時間の変更はなぜか。

A 9月19日より1時間繰り

上げた。臨時職員等減によりローテーションが組めない状況。欠員については補充を考えている。

決算特別委員会

総 務 部

Q 公共交通のバス補助金。路線乗車人数が1人以上から2人以上に変わる。どうなるのか。

A 国の補助金から県の補助金に変わる。

Q 神岡循環タクシーの乗車率は。

A 1日1便当たり6人の乗車で問題ない。

情報施設会計

Q インターネットの50Mへの切り替えは何件か。

A 8月末で25件。

Q どんな苦情があるのか。

A 夜間の速度低下に対するものがある。

Q どこが停電になると、インターネットが使用できなくなるのか。

A 冗長化されているので、どことは言えない。複数回線でカバーしている。

企 画 部

Q 薬草ビレッジ構想推進プロジェクト事業について基盤づくりはできているか？

A まだいろいろな事業を立ち上げていつている段階。



薬草フェスティバルの様子



Q 市内向けなのか、市外に向けたプロジェクトなのか。

A 市民の健康づくりという大きな目標があるが、外にも

発信していきたい。

Q 飛騨市ファンクラブについて楽天edycカードの寄付はどれくらいあったか。

A 昨年1月～12月までで4503円。

Q “ひだプラす”についてどんなまちづくりをしようとしているのか。

A まちづくりの勉強会を重ね少しずつ進めていきたい。

市民福祉部

Q 未満児のこれ以上受入れは無理なのか。

A 保育室の大きさ、保育士の数で決まる。事前の申込みの人数で保育士を確保している関係もある。

Q 来年の未満児に定員があるが、当初から上回る予想がある。

A 個々の保育園の定員がある。他園へ入ることもあり、市内全域で検討する。

Q 臨時福祉給付金。交付率が90%以下だが。理由は。

A これまでも90%に届いていない。いろいろな方もある。書類を知らない方もある。

Q 周知方法に民生委員を活用したら。

A 対象者に申請書は届いて

いる。広報での呼びかけもしている。

Q 放課後児童クラブ。加入者の増加で手薄になるが対応は。

A 体育館や外遊びで対応している。

Q 割石温泉防水工事がある。今後の工事予定は。

A 35年経過で老朽化している。ボイラーが故障になりかけの状態。

Q 一人親家庭のアンケートで、困りごととは誰が聞いているのか。

A 家庭相談員1名増員し研修中。概ね職員で行っている。

Q 風疹の予防接種。対応は。

A 県で抗体検査を無料で行っている。市は独自に1回限り8千円を助成。

Q 各種予防接種の率は。

A 努力義務は95%。市は96%。5名程度は接種しない。

Q 利用者の反応は。

A 事業者にも歓迎されている。利用者も多くなっている。介護保険事業特会

Q 保険利用にはケアマネが必要。資格者の人材確保は。

A ケアマネ養成研修。初日は県で実施、実務研修となる。

今は、ケアマネ專業でないと業務が厳しい。

商工観光部

Q 外国人技能実習生を採用している事業所の情報はデータ化されていないのか。

A ハローワークで情報を頂いているが、正確に分からない。企業訪問等で把握している。

農林部

Q 飛騨牛研修・繁殖センター建設事業について住民意識への対応は。

A 臭いをはじめとする様々な懸念について、地元説明会を開催し、不安事項対策などを説明して理解を求め、事業の成功を期している。

Q 農地法三条の農地取得要件の緩和について、どのように周知しているか。

A 農業委員会での周知、市内不動産業者・行政書士への通知、住むとこネットへのアップなど、幅広く広報している。

Q クアオルト健康ウォーキング推進事業の状況は。

A 今年度10回開催し、平均

5名の参加を得ている。いろいろ改良を加え検討しながら将来に向けて充実したものになりたい。

Q 伝承作物振興拡大事業の状況は。

A 認定委員会で4作物が認定された。今後は活用委員会によってどのように活用し、市民に広めていくか検討し、充実させたい。



種蔵の紅かぶ



山之村の白たまご（ささげ）

Q 広葉樹のまちづくりの推進内容とその成果は。

A 関係者による円卓会議、木工作家による研究会、町づくりセミナー、ひだ木フトの製作等、多方面で活動し、今年度の研究を継続させ、その成果を発展させることを期している。



北海道中川町との締結式

Q 危険木の除去についてその対応は。

A 地域住民の要請を優先させて県に要望を上げ、森林・環境税を使った処理については優先順位をつけ行いたい。

Q 農地利用状況調査の結果とそれへの対応は。

A 市内全体の荒廃農地の状況を把握した。今後は農業振興課と連携を図りながら、担い手農家への利用集積・集約化を図り、再生が出来ない農

委員会Q&A

地については積極的に非農地手続きを推進する。

Q 新規就農者支援HP作成事業における、実践者の生の声を伝える方法は。

A HPへの入り方を簡潔にしたり、その内容や利便性について研究し対応している。

基盤整備部

Q 将来の除雪は、委託にするのか、直営にするのか。

A 基本的には、建設業協会と打合せをして対応。冬期に仕事が出来る方との委託は今後も続けていく。

Q 古川祭り屋台曳行支障電線等移設事業で、今後の対象路線と何年ぐらいかかるか。5年できるか。

A 今年度は、市役所から飛騨信までの1路線。今後屋台の通る所を各屋台からの要望にそってやりたい。5年ではできない。

Q 藤棚の管理はどのようにするのか。

A 気多公園再整備として検討している。木の除去、補植等検討している。藤棚については、メンテナンスを予算化して管理していく。



気多公園の藤棚

Q 木造住宅の耐震診断した結果はわかるか。

A 古川11件、神岡2件、河合2件である。すべて耐震基準を下回っていた。今後補強工事につながる啓発を行う。

教育委員会

Q 神岡町漆山行ききのスクールバスについて、現在、帰りのバスでは漆山の国道のところで生徒を下ろす。冬は特に危なくはないか。

A 制度上すぐには変更できない。次の更新が平成32年のため変更できるよう検討していきたい。

Q 山城の活用方法について姉小路氏、広瀬氏とも関係があるので高山市とも連携していきたい。

Q 平成32年度から学習指導要領が完全実施されていくが

影響は。

A 英語教育の部分は変わっていくので、今年度から2名の英語講師を雇用し、英語の授業の進め方を実戦研究している。

Q 学校給食について、アレルギーの子供も増える中、どうやって対応していくのか。

A 人員が十分であれば対応できるが、十分なものができないかの心配はある。

Q 中学校の外部指導員について人数は足りているのか。

A 8月から9月にかけて部活動のアンケートを実施した。職員から外部指導員について望む声が多かった。

病院管理室

Q 研修医の方に今後も勤務医としてきていただけないか。

A 研修医の方からも好感を持っていただいている。研修医の方が、フリーの医師になるのには、7年〜9年かかる。今は当病院を知ってもらう段階。

Q 時間外手当について市長会等で、要望できないか。

A 機会をみて時間外手当について取り上げていきたい。

議会の傍聴にお越しく下さい

12月定例会の予定

11月28日 (水)	本会議 (開会、提案説明)
12月 5日 (水)	本会議 (一般質問1日目)
6日 (木)	本会議 (一般質問2日目)
7日 (金)	本会議 (一般質問3日目)
10日 (月)	常任委員会 (総務・産業)
11日 (火)	予算特別委員会
13日 (金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

※ 日程は変更される場合があります。